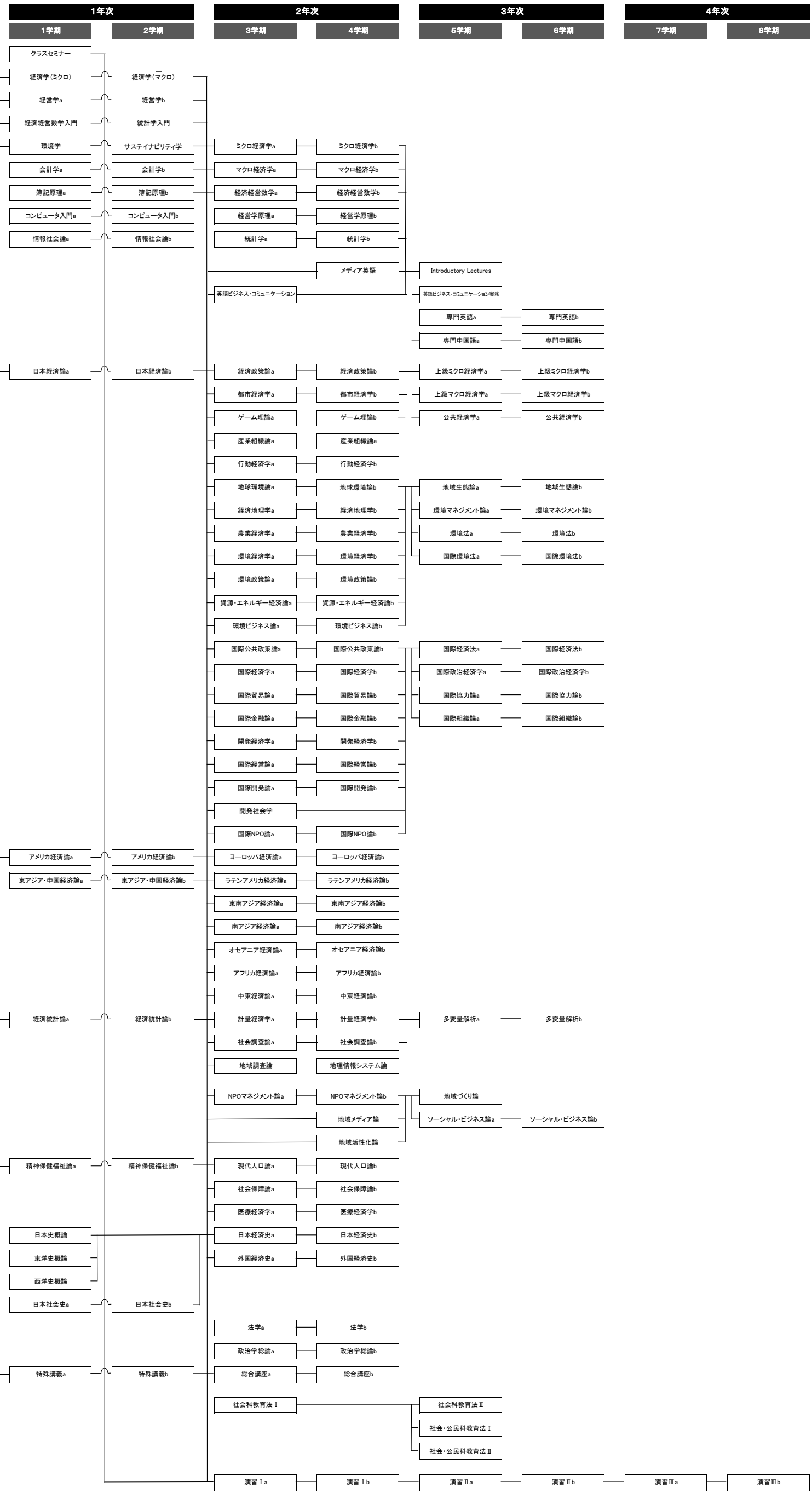
国際環境経済学科　履修系統図

群	部門	群・部門の学修・教育目標
学部基礎科目		経済学部で学修していくために必要なアカデミックスキル、経済学、経営学、数学、統計学分野の基礎力を修得することを教育目標とする。
学科基礎科目		国際環境経済学科の専門分野に進んでいくために、その前提となる基礎的知識を身につけることを教育目標とする。
学科専門科目	専門外国語	専門領域に関する外国語で書かれた文献を講読したり、Webから情報を収集したり、外国語で見解を述べることができるようになることを教育目標とする。
	公共経済	公共経済に関する専門知識を修得し、公共政策の効果について分析のうえ、見解を提示できるようにすることを教育目標とする。
	環境	環境に関する専門知識を修得し、環境政策の効果について分析のうえ、見解を提示できるようにすることを教育目標とする。
	国際	国際社会や国際問題に関する専門知識を修得し、国際的な政策効果や各国の相互依存関係について分析のうえ、見解を提示できるようにすることを教育目標とする。
	外国経済	各国経済や地域経済に関する専門知識を修得し、各国や地域の政策について分析のうえ、見解を提示できるようにすることを教育目標とする。
	調査・統計分析	調査・統計分析に関する専門知識を修得し、社会現象や人々の意識・行動について分析のうえ、見解を提示できるようにすることを教育目標とする。
	地域・実践	地域社会の抱える課題に関する専門知識を修得し、地域づくりや地域活性化の実践について分析のうえ、見解を提示できるようにすることを教育目標とする。
	人口・保健・医療	人口・保健・医療に関する専門知識を修得し、人口・保健・医療に関する政策効果について分析のうえ、見解を提示できるようにすることを教育目標とする。
	歴史	歴史に関する専門知識を修得し、日本経済や世界経済の歴史について分析のうえ、見解を提示できるようにすることを教育目標とする。
	政治・法律	政治・法律に関する専門知識を修得し、政治における諸問題を分析し、各領域で法解釈を行い、見解を提示できるようにすることを教育目標とする。
	総合講座・特殊講義	社会で活躍する方々の講演や従来の科目の枠組を超えた専門知識を修得し、自分の将来設計を考え、現代社会に対処できるようにすることを教育目標とする。
教職関連科目		中学校・高等学校の社会科・公民科に関する教育法の基礎的知識、および学習指導要領に基づく学習指導案を作成できる力と指導技術を修得し、授業のあり方について分析を行い、見解を提示できるようにすることを教育目標とする。
演習科目		演習ごとのテーマに沿って専門知識を修得し、プレゼンテーション、フィールドワーク、レポート・論文執筆などを通して、論理的に見解を述べ、議論ができるようになることを教育目標とする。
全学共通授業科目		全カリの欄を参照